

【概要】 2015 年度 民間住宅ローン借換の実態調査

I 調査の概要

現在、民間住宅ローンの借入があり、2014 年 11 月～2015 年 10 月に借換をされた方を対象として借換による住宅ローンの金利タイプの変化、借換理由などの事項について、インターネットによるアンケート調査を実施し、その結果を取りまとめたものです。回答数:972 件

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

- 1 借換後の金利タイプは、「固定期間選択型」と「変動型」が多い<p. 2、p. 3>**
 - ・借換後の金利タイプは、「変動型」が最も多く 40.5%、「固定期間選択型」がほぼ同水準の 39.3%でそれに次ぎ、「全期間固定型」は 20.2%
 - ・借換後の金利タイプ別利用割合の3か月ごとの推移をみると、「変動型」と「全期間固定型」の利用割合がほぼ逆相関の関係で推移
- 2 借換までの経過期間は、「5 年超 10 年以内」の割合が最も高い<p. 4>**
 - ・借換までの経過期間は、「5 年超 10 年以内」の割合が最も高く、37.8%
- 3 世帯年収が高くなるほど「変動型」への借換割合が上昇<p. 5>**
 - ・世帯年収別に見ると、世帯年収が高くなるほど「変動型」への借換割合が上昇する傾向
- 4 借換理由は、金利低下と返済額減少が多数<p. 6>**
 - ・借換理由は、「金利が低くなるから」が 68.5%、「返済額が少なくなるから」が 53.3%と多数
- 5 金利低下幅が大きいほど借換後の返済期間が比較的短くても借換をする割合が多い<p. 8>**
 - ・借換によって金利が低下した方の借換後の返済期間の割合に関しては、金利低下幅が大きいほど借換後の返済期間が比較的短くても借換をする割合が多い。